

船舶滿載吃水線法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十年一月二十九日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

坪田 十郎君

岩崎幸治郎君

栗林 五朔君

山本清三郎君

蓮井 藤吉君

青柳郁次郎君

石井 三郎君

森 恪君

橋本 喜造君

正木 照藏君

齋藤巳三郎君

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣男爵

加藤友三郎君

出席政府委員左ノ如シ

遞信次官

秦 豐助君

遞信省管船局長

若宮 貞夫君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

遞信技師

山本 幸男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶滿載吃水線法案

○委員長(坪田十郎君)

ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス

○正木照藏君 時間ヲ省略致シマス爲メニ、便宜上

何處カラデモ質問致ス事ニ致シマスガ、此第十二條

ニ罰金ノ條ガゴザイマスガ、百圓以上二千圓以下ト

云フ罰金ハ少クハアリマセヌカ、是ハドウ云フヤウ

ナ標準ニヤツタノデアリマセウカ、例ヘバ餘程金ガ掛

カリマスル爲メニ、駄ッテ出テ行クト云フコトヲヤラ

ストモ言ヘスデス、其時計算シテ見テ千圓ヤ二千圓

位ノ罰金ヲ出シタ方ガ得ダ、斯ウ云フヤウナコトガ

折々戰ノ時ハ澤山出來テ來ル、平生デモ政府ノ方デ

ヤツテ貰フト手ガ掛カルカラ駄ッテ出テ行ツシマフ、

二千圓ガ極度デアルト云フノハ一寸安イヤウニ思

フ、何ラ標準ニヤツタカ

○若宮政府委員 類似ノ検査法デゴザイマスナ、檢

査法ノ罰則ヲ參照致シマシテ、ソレヨリ重クシテア

リマスノデアリマス、検査法第十條ニ稍々類似ノ規

定ガゴザイマス

○正木照藏君 検査法ハ明治三十年デスカ、其時ト

餘程金ノ相場ガ違ッテ居リマス、成程字ニ書イテアリ

マス、千圓ハ千圓デゴザイマスガ、餘程金ノ價ガ違

フ、事情ガ違フカ、ソレニ依ラナケレバナラヌカ、今

申ス通り事實ニ於テサウ云フ事ガ出來ルト思フ、亂

暴ナ船長ニナリマス、中ニ是ハ檢定ヲ受ケル爲メ

ニ一日モ二日モ費シテハ困ルカラ、早速出テ行ク、千
圓ヤ二千圓ノ罰金ヲ拂フ積リデ出テ行ク、斯ウ云フ
コトガナイトモ言ヘヌ隨分亂暴ナ奴ハソナナ事ヲヤ
ルカモ知レヌ

○若宮政府委員 今申上ゲマス通り類似法ニ——船
船検査法第十條ニ依リマシテハ、船長ハ三十圓以上
三百圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトニナツテ稍々性
質ヲ同ジウスル法律デアリマスルカラシテ、御趣意
ノヤウナ廉モ參酌致シマシテ本案ノ第十二條ニハ之
ヲ少シク重クシテ百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處ス
ルト云フコトニ編纂シテアリマス、尙ホ附加ヘテ申
上ゲテ置キタイノハ、此船長及船長ニ代ツテ其職務ヲ
行フ所ノ船舶職員ニ就キマシテハ、其身分上ノ制裁
ガ御承知ノ通りニゴザイマスノデ、其免狀ニ對スル
責任ノ上カラモ、此罰則ハ適當デアラウト斯様ニ考
ヘテ居リマス

○正木照藏君 ソレハドウ云フ條ナンデス、身分上
ノ責任トハ何カ

○若宮政府委員 海員懲戒法ニ依ル懲戒ノ事ヲ意味
シテ居リマス

○正木照藏君 ソレニハ何カ之ニ關係シタ條項ガゴ
ザイマスカ、私ハ見ナイカラ分リマセヌガ、ドウ云フ
條ナノデゴザイマスカ

○若宮政府委員 凡ソ船舶職員ガ職務ニ違背ヲ致シ
タル——法規ニ違反ヲ致シタト云フ時ニハ、懲戒法
ニ依ツテ懲戒ヲ受ケベキコトニナツテ居リマス

○正木照藏君 例ヘバ此場合ニ吃水線ニ超エテ航行
シタ、——航行セシメタトカ、吃水ノナイモノヲ出シ
タト云フヤウナ場合ニハドウスルカ、懲戒スレバド
ウ云フコトニナルカ

○若宮政府委員 只今ノ懲戒法ヲ直チニ取寄セテ、
箇條ニ就テ御説明ヲ申上ゲマス、暫時御待チテ願ヒ
マス

○正木照藏君 ソレカラ是ハ遑ツタ事デゴザイマス
ガ、私ガ間違ッテ居ルカモ知リマセヌガ、參考トシテ
承リタイノデスガ、之ヲ考ヘテ見ルト、検査法ガアレ
バ此法律ヲ拵ヘナクテモ、一ツノ検査ノ規定ノ中ニ
合マスト云フ譯ニ行カナクカッタモノデスカ、ソレハド
ウデスカ、ソレハ詰リ參考ノ爲メニ承リタイ、船舶檢
査法ト云フモノヲ擴ゲテ、此検査法ノ規定ニ之ニ關
スル事ヲ拵ヘレバ、別ニ法律ヲ作ラナクテモ宜クナ
カッタカ知レスト思ハレルガ、其邊ノ見解ハ如何デス
カ、遞信省ノ御調ハ...

○若宮政府委員 色々別個ノ法案ニ致シタイト云フ
コトニ就テハ理由ガゴザイマスガ、其一ツハ從來御
承知ノ如クニ、船舶ノ船籍等ニ關シマシテ、船舶法ト
云フ一ツノ法律ヲ拵ヘテ居リマス、又検査ニ就キマ
シテハ検査法、職員ノ事ニ就テハ職員法、船員ニ就テ
ハ船員法ト、別個ノ法律ニナツテ居リマス、此慣例ニ
從ヒマシタト云フコトモ一ツノ理由デゴザイマス
シ、ソレカラ尙ホ検査法ト此法案ニ定メントスル所
ハ適用ノ範圍モ違ヒマスデゴザイマス、又細カイ事
ニナリマスルケレドモ、監督ノ方法ニ就キマシテモ
自ラ趣キヲ異ニ致シテ居リマス、譬ヘテ申シマス
云フト、船舶検査ト云フコトニナリマスレバ、此本來
ノ目的カラ或ル一定ノ時間繰返シテ之ヲ行フノ必要
ガアルコトハ、申迄モナイノデアリマスノニ、本案ニ
定メント致シマス所ハ、船舶ガ衰弱致シマストカ、變
更スルトカ云フコトガナクバ屢々之ヲ繰返シ必要ガ
ナイ、サウ云フ監督方法ノ違ヒガアリマス、其外細カ
イ事マデ申シマス、検査法デアリマススト云フト、内
地ニ籍ヲ有シテ居ル日本船舶ニノミ適用スルコトヲ
原則ト致シテ居リマスガ、本案ニ定メント欲スル所
ハ、凡ソ内地ニ出入スル船舶ニハ、内外ノ別ナク之ヲ
適用セントシテ居ルト云フ廉ニモ違ヒガゴザイマ

ス、ソレは綜合致シマシテ、便宜上之ヲ別個ノ法案トシテ出シマシタ。一寸先程正木君ノ御質問ノ懲戒ノ關係申上ゲテ宜シウゴザイマス。

○正木照藏君 折角海軍大臣ノ御出席ヲ得マシタノ御尋致シマス、是ハ本會ノ時分ニ私ガ既ニ申上ゲマシテ實ハ海軍大臣ノ御答ヲ得タイ、斯ウ考ヘタガ、御出席ガゴザイマセヌノデ委員會ニ讓ルコトニ致シテ置イタ、ソレハ外ノ事デゴザイマセヌ、吃水法ト關係ヲ持ッテ居リマス、船舶ノ方モ獎勵ト申スコトカラ、優秀船舶ノ保護獎勵ニ就キマシテハ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、斯ウ云フノガ質問ノ要點、申ス迄モナク優秀船舶ヲ拵ヘルニハ金ガ掛カル、其代リ國家有事ノ時分ニハ最モ必要ナル働キスルコトハ、最近歐羅巴ノ戰爭ニ於キマシテモ色々ノ働キ爲シタ、例ヘバ假裝巡洋艦ニナツタリ、或ハ病院船ニナツタリ、色々ノ任務ニ服シテ大切ナ働キヲシテ參ッタコトハ、私ノ申迄モナイコトデアリマス、御承知ノ通り平生ハ何處ノ國ニ於キマシテモ、優秀船舶ヲ持ッコトニ力ヲ盡シテ居リマス、英吉利ノ如キハ一時低利資金ヲ借りテ、大キナ船ヲ拵ヘタト云フコトニナツテ居リマス、又亞米利加ニ於テモサウ云フ優秀船舶ヲ造ル方法ヲ執ッテ居リマス、日本ノ國ニ於キマシテモ、造船獎勵法ノ中ニモソレガアツタ、又遠洋航路補助法ノ中ニモ其事ガアツテ、政府即チ海軍ノ御註文ノ船ニハ二割ノ補助金ヲ餘計ニ給スルコトニナツテ居ッテ、政府トシテモ、國家トシテモ其處ニ意ヲ用キテ居リマシタ、所ガ造船獎勵法ハ期限満了、無クナツテシマッタ、色々研究サレテ居リマスケレドモ、新聞紙ニ依ッテ承ルト、主ニ製鐵業ノ保護ニ關聯シタ話デ、其材料ヲドウスルトカ云フ話ニ止ッテ居ッタ、優秀船舶ノ事ニ就テハ造船獎勵法ヲ改正シテ、之ニ特別ノ規定ヲ拵ヘルト云フコトデアッタガ、ソレガ實行サレテ居ラス、遠洋航路ノ三大航路、即チ歐羅巴航路、シヤトル航路、濠洲航路ノ如キモ、優秀船舶ニ關スル制限ガ弛ンデ參ッタ、何トナク國家ノ優秀船舶ノ保護ノ獎勵ト云フコトニ就テノ途ガ、閑却ト申サレマセメケレドモ、何分十分ニ確立シテ居ラスヤウニ居ハレル、尤モ御承知ノ通り日本ノ海運ガ戰爭ノ爲メニ非常ニ發達

シテ居ル、今日ハ三百萬噸以上ニナツテ居リマス、大變船ガ出來マシタガ、其船ハ悉ク貨物船デアリマス、例ヘバ八坂丸、常陸丸ト云フ船ガ沈沒致シマシタガ、其代リガ出來ルカ、出來ヌカト云フ話デ、一向サウ云フ快速船ニ就テハ進ンデ居ラス、ソレデ外國ノ例ヲ見マス、私ガ此處ニ説明ヲ致シマスマデモゴザイマセヌ、英吉利ニハ十五節以上ノ船ガ三百七十艘アル、其他亞米利加デモ、伊太利デモ澤山アル、日本ニ於キマシテハ僅カ二十二艘シカナイ、一番日本ノ速力ノ高いノガ十九節、アトノ方ハ十七節位デアリマス、其點カラ考ヘマス、今日日本ノ國ノ海運ハ第三位ニ位スルトカ、第四位ニ位スルトカ云フノデ誇ッテ居リマスガ、良イ船ガ出來テ居ラス、海軍ノ方ハ八八艦隊ト云フコトニ著々進メラレテ居リマスガ、一面其役ヲ爲ス優秀船舶ニ就テ此儘ニシテ置キマスト、折角八八艦隊ガ出來上リマシテモ、其働キハ十分ニスルコトガ出來ナイヤウニナリハセヌカト云フコトヲ心配スル、其處ニ就テ海軍大臣ノ御見解ハドウデアルカ、是ハ何トモセズニ此儘ニ抛ッテ置イテ宜イト云フ御考デアルカ、ドウデアルカ、遞信大臣トシテ御考ヲ持ッテ居ルカ、今日計畫ニ及ンデ居ラス、御承知ノ通り船ハ直グニ出來ルモノデゴザイマセヌ、今アル所ノ船ヲ抛ッテ置クト直グ出來ナクナリハセヌカト心配シマス、此度政府ガ遠洋航路補助ヲ此議會ニ出サル、ト云フコトニ就テ、海軍大臣ノ御所見ヲ承リ置キタイ、是ハ國家ノ海軍ノミナラズ、國防ニ非常ニ關係アルコトデアリマスカラ、ドウゾ十分ナル御意見ヲ承リタイ。

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 正木君ノ御話ハ、要スルニ優秀船舶ヲ造ルガ爲メニ、航海獎勵トカ、若クハ造船獎勵トカ云フ如キモノヲ、維持シナクテハイカナイと思フガト云フコトニ歸着スルヤウニ聽エマシタ、此航海獎勵、造船獎勵ト云フコトニ就テハ、色々意見ガアリマス、私ハ實ハ斯ウ云フ事ハ門外漢デ能ク分ラヌ、併ナガラ私ハ此處デ申上ゲヤウト思フノハ、單ニ海軍ト云フ見地ノミカラ考ヘマシテ申上ゲル外ハナイ、ソレハドウ云フコトデアルカト云ヘバ、御話ノ如ク有事ノ際ニ船舶ヲ徵發シ、若クハ備上ゲテ、之ヲ海軍ガ利用スルト云フコトハ、是ハ必要ナ事デアアル、海軍當局トシテ希望シテ居ル點デアルト云フコトハ、是ハモウ論ノナイ話デアリマス、今日ニ於テモ同ジ考ヲ持ッテ居リマス、外國ノ例ヲ御引キナリマシタガ、外國モサウヤツテ居ル、左様ナ譯デアリマスカラ、單ニ海軍ノミノ見地カラ言ヘバ、如何ナル方法ヲ講ジテモ優秀ナル船ヲ欲シイト云フコトハ是ハ論ノナイ事柄デアリマス、此希望ヲ果スガ爲ニハドウ云フ方法ヲ講ズルガ宜イカト云フコトニナルト、私ニハ具體的ノ案ガナイ、此點ハ遞信省ノ方デ考究シテ實ッテ經濟方面ナリ、或ハ造船材料ノ獎勵ナリ、造船ノ獎勵ナリ、航海ノ獎勵ナリト云フコトヲ綜合シテ、而シテ軍事當局ノ要望ニ應ズル如キ案ヲ立テ、貰ヒタイノデス、ソレハドウ云フ案ガアルカ、私トシテハ意見ガ無イ、斯様ナ譯デアリマスカラ、私トシテ申上ゲレバ、單ニ海軍ノミカラハ早ク大キイ良イ船ガ澤山アルコトガ宜シイト申スノ外ハナイ話デアッテ、是ヨリ外ニ私ノ卑見ヲ申上ゲヤウトシテモ何モ無イノデアリマス。

○正木照藏君 海軍大臣トシテ御尤ノ御話デスガ、如何ニ獎勵シ、如何ナル標準ヲ有タル、カト云フコトヲ御尋シタノデハナイ、海軍トシテ八八艦隊モ確定セラレタ今日デアルカラ、ソレニ附隨シテドレ程國トシテ優秀船舶ヲ備ヘルガ必要デアルカ、ソレヲ備ヘナケレバ八八艦隊ノ十分ナル效果ヲ舉ゲ得ラレナイ、今日ノ如ク優秀船舶ガ不十分デハ困ル、國家トシテドノ位ノ優秀船舶ヲ拵ヘテ吳レナケレバ困ルト云フ問題ハ、寧ろ海軍大臣カラ閣議ナリ、若クハ遞信大臣ニ御註文ニナルベキ筋デハナイカト思フ位デアアル、尤モ海軍ノ今迄ノヤウニ擴張ナサリナイナラバソレデモ宜シイガ、現ニ擴張スルコトニナツテ居ル、サウシテ八八艦隊ヲ完成スル位ナラバ、大凡ソ國トシテ何十萬噸位ノ優秀船舶ヲ備ヘテ居ラナイト、軍事上ノ働キ十分ニスルコトガ出來ナイト云フ、御所見ガナイノデアリマセウカ、優秀船舶ノ必要ナコトハ分リ切ッタ話、ソレモ程度ノ話デアアル、補助船ノ方モ國家トシテヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フコトハ、海軍大臣トシテ御提議ニナル御考ガナイノデアリマスカ、更ニ

十分補助船ガアレバ宜イト仰シヤルダケデハ私ハ物足ラヌ、モウ少シ進シテ御考ガアリサウナモノト思フ、今海軍デ御作りニナツテ居ルノハ、現在アル船ノ何九ヲ何處ニ持ッテ行クト云フコトデアレバ、之ヲモツト進メテ八八艦隊ガ出來ルナラバ、民間デモ亦優秀船ヲ造ラナケレバナラヌコトニナツテ來ルト思フ、其邊ニ就テ漠然タル御註文デナク、少クトモ何十萬噸造リタイトカ、斯ウ云フ船ガ何十艘ナケレバナラヌコト云フコトガ、海軍省デ御調ガ出來テ居ラナケレバナラヌト思フ、現在ノ船ヲ今戰爭ガ始ツタキニ御使ヒニナルノハ當リ前ノコトデアルガ、モウ少シ進シテ行ケバ斯ウ云フ船デハ不十分デアルカラ、斯ウモシナケレバナラヌト云フ御取調ガ出來テ居リサウニ思ヒマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 海軍トシテ要望スル所ハ、豫テ遞信省ト相談シテ居ルノデアリマス、其具體的ノコトハ私ハ茲ニ記憶致シマセヌガ、優秀船ヲ要望スル、斯ウ云フ意味デアル、ケレドモ何萬噸要ルト云フ具體的ノコトハ私ハ發ニ申上ゲ兼ネマス、併シ率直ニ申セバ多ク益、辨ズルト云フコトニナルケレドモ、ソレモ程度ノ問題デアル、ソレデ其海軍ガ要望スル通りノコトヲ遞信省ガ爲シ得ルヤ否ヤ、是ハ遞信省ニ纏メテ貰フヨリ仕方ガナイ、一口ニ言ヘバ速力ノ早イ船ト云フコトニナル、速力ヲ早クスレバ船モ大キクナル、所謂優秀船トナルノデアリマス、是以外ニ私ハ此處デ一寸御答スル材料ヲ有タナイ、要スルニ優秀船ヲ海軍トシテハ希望シテ居ル、是ガ簡單ナル率直ナル御答デアリマス

○正木照藏君 尙ホ御尋致シマスガ、例ヘバ陸軍ニ於テハ幾師團カノ兵ヲ輸送スルニ就テ幾ラ船ガ入用デアル、陸軍ヲ擴張スレバ是ダケノ船ガナケレバナラヌト云フ、大凡ソノ見込ガアルト思ヒマスガ、海軍ニ於テハ如何デスカ、一艦隊ヲ有ツニ就テハ之ニ附屬シテドレ位ノ程度ノ補助船ガ必要デアリマスカ、之ニ就テ何カ標準ガアリハシマセヌカ、一艦隊ニ就テ例ヘバ通報船ハドノ位、病院船ハドノ位ト云フ大體ノ標準ハナイモノデスカ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) ソレハアリマス、是ハ此處デ一寸御話シ憲イノデアリマスガ、陸軍ハ陸軍、海軍ハ海軍デ、戰時編制ヲ作リマシテ、本年戰爭サガアレバドノ艦隊ハ何處ニ行ク、商船ハドノ船ヲ海軍ガ備土ゲル、ドノ船ハ陸軍ガ備上ゲルト云フコトニ就テ、船ノ名前マデ決ッテ居ッテ、表ガ出來テ居ル、ソレガ戰時編制デ、此戰時編制ハ兩者共關係者外ニ知ラセマセヌ、サウ云フ性質ノモノヲ毎年作ルノデアリマス

○正木照藏君 ソレヲ當嵌メテ見タ所ガ——現在ノ船ニ當嵌メテ見テモ不十分デアル、斯ウ云フ編制ヲスルニ就テハ不十分デアルト云フコトガ出テ來ルト

思フ、今海軍デ御作りニナツテ居ルノハ、現在アル船ノ何九ヲ何處ニ持ッテ行クト云フコトデアレバ、之ヲモツト進メテ八八艦隊ガ出來ルナラバ、民間デモ亦優秀船ヲ造ラナケレバナラヌコトニナツテ來ルト思フ、其邊ニ就テ漠然タル御註文デナク、少クトモ何十萬噸造リタイトカ、斯ウ云フ船ガ何十艘ナケレバナラヌコト云フコトガ、海軍省デ御調ガ出來テ居ラナケレバナラヌト思フ、現在ノ船ヲ今戰爭ガ始ツタキニ御使ヒニナルノハ當リ前ノコトデアルガ、モウ少シ進シテ行ケバ斯ウ云フ船デハ不十分デアルカラ、斯ウモシナケレバナラヌト云フ御取調ガ出來テ居リサウニ思ヒマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 年々作ル戰時編制ニ依ル船舶ノ利用法トデモ申シマスカ、ソレハ出來テ居リマス、今御話申ス通りニ出來テ居リマス、所ガ此計畫デハ不十分デアルカラ、此分ノ船ヲ大キクシタイ、彼ノ分ノ船ヲ大キクシタイト云フ希望ガアルカト云フ御尋デスガ、ソレハ箇々ニ就キテ言ヘバ希望ハ澤山アリマス、決シテ今日ノ現狀ニ於テ満足シテ居ルモノデアリマセヌ、モツト優秀ナ船ガ軍事當局トシテハ欲シイノデアアル、併シ具體的ニ——ドノ位ニ大キクスルカト云フヤウナ具體的ノコトハ拵ヘテ居リマセヌ、紙ノ上デ作ルノハ譯ハアリマセヌガ、空論ニ了ルノデス、ソレデサウ云フモノハ拵ヘテ居リマセヌガ、併シ要望ハシテ居ルノデアリマス

○正木照藏君 ソレヲ空論ニ了ラサズニ、ソレカラ割出シテ追々遞信省ナリ、大藏省ナリト御相談ニナツテ空論ニ了ラサズシテ本當ノコトノ實現サル、途ニ出デラレンコトヲ希望スルノデアリマス、併シ私ハ愛ニ優秀船ノ保護獎勵ノ途ガ缺ケテ居リハシナイカト云フコトヲ一言申上ゲテ、海軍大臣ノ御注意ヲ喚起シマシテ此質問ハ打切りマス、何卒空論ニ了ラズシテ實現ノ御計畫ヲ立テラレンコトヲ希望致シマス

○橋本喜造君 此吃水線法ヲ見マスルト、石油船ノ事ハ昔イテアリマセヌガ、海軍ノ燃料モ石油ニ變更スル様デアアル、又一般ニ今日ハ石油ニシナケレバナラヌト云フ意味デ、普通ノ運送船モ石油ニ變ヘツ、アル場合デアリマス、ソレデ近來ハ日本デモ石油船

ノ既ニ計畫サレタモノガ六七隻アルヤウデアリマス之ニ對シテモ矢張吃水線ハ此通りニ用キルデセウカ、或ハドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○國務大臣(男爵加藤友三郎君) 橋本君ノ御尋ハ私ハ能ク此案ヲ研究シテ居ラナカッタガ、此法案ガ成立致シマスレバ、無論此法案ニ準據シテヤルコトニナツテ居ルサウデアリマス

○橋本喜造君 ソレデ宜シウゴザイマス、ソレカラ吃水線法ノ第一條ノ三項ヲ見マスルト百噸未満ノ

○委員長(坪田十郎君) 橋本君、海軍大臣ニハ——

○橋本喜造君 モウ宜ウゴザイマス、第一條ノ三項ヲ見マス、近海航路ヲ航路定限トスル帆船ト云フコトニナツテ居リマシテ、百噸未満ノ汽船ノ事ハ何等書イテナイヤウデアリマス、百噸未満ノ汽船ニ對シテハドウ云フ方法ヲ執ル御積リデアリマスカ

○若宮政府委員 百噸未満ノ汽船ハ書イテゴザイマセヌケレドモ、事實トシテハ、無イノデゴザイマス、其譯ハデス、申上ゲテ宜シウゴザイマス、現在法規ニ依リマシテ、百噸未満ノモノヲ、省イテ居リマス、事實問題トシテ出テ參リマセヌノデゴザイマス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ矢張一緒ニ抜カサレテ居リマス

○橋本喜造君 只今ノ御説ハ實際ヲ少シ遠ザカッテ居ル問題ト思ッテ居リマス、百噸未満ノ汽船デ貨物ノミヲ積ム船ガアルノデスガ、百噸未満ノ船ヲ免除スルト云フコトナラバ、之ニ附加シテハ如何デアルカト思ヒマスガ、ソレヲ御尋シマス

○若宮政府委員 一寸甚ダ失禮デゴザイマスガ、モウ一度ドウカ……

○橋本喜造君 百噸未満ノ汽船デアッテ、貨物ノミヲ運送スル專門ノ船ガアリマス、ソレ等ハ吃水線ノ必要ガアリハセヌカト思ヒマスガ、宜ウゴザイマス、カ、ソレデ貨物ノミヲ運搬スル船舶デアレバ、百噸未満ト雖モ「フリー」ボート「ヲ決メル必要ガアルト思ヒマス、ソレヲ若宮管船局長ハサウ云フヤウナ事ハ實際ニ於テ何等、帆船同様ノ積リデアレバト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ私ハ諒解ヲ致シマシタガ、若シ百噸未満ノ船ノ干舷法ヲ拵ヘル必要ガナイトシマシタ

ナラバ、帆船ト同様ニ第三項ニ附加シテハドウカト云フ御尋デアリマス

○若宮政府委員 サウナリマス云フト、要スルニ必要ノ度合ト云フコトニナルコト、思ハレルノデアリマス、主務省ニ於テモ種々攻究致シマシタ結果、先ヅ大體其邊ハ適當ノ範圍外ニ置イテモ差支ナカラウ、斯ウ云フ意味ニ外ナラヌノデアリマス、一寸一例ヲ申シテ見マシテモ、此平靜ナル沿海ヲ航行スル船舶デアリマスルト、避難港モアルト云フ關係モアリマスシ、外海ヲ航海致シマスルモノト稍々其趣キヲ異ニシテ居リマス、爰ニ段階ヲ附ケマシテモ大ナル差支アルマイ、斯ウ云フヤウナ考ニ基イテ居リマス

○橋本喜造君 帆船ニ免除スル必要ガアレバ、矢張汽船ニモ免除スル必要ガアラウト思ヒマス、航海ニ於テ何等帆船ト違フ事モナイノデアリマス、併ナガラ、管船局長ニ於テサウ云フ苦シイ申譯ヲスルヤウデアリマスレバ、是ハ此位ニ止メマス、其次ハ「トロール」船、是ハ約三百噸許アリマスガ、漁獵船ト書イテアリマスガ、「トロール」船ハ又一種獨特ノ船デゴザイマス、是ハ沖合ニ出マシテ十日モ十五日モ居ッテ殆ど干舷ヲ失シテ滿載ノ狀態デアル、又出帆スル場合ニハ石炭等ヲ滿載ヲシテ、實ニ危險ナ狀態デアリマス、之ニ對シテ制限ガナイヤウニ思ヒマス、是ハドウ云フ手續ヲ執ルノデアリマスカ

○若宮政府委員 大體漁獵船ハ、諸外國ノ立法例ニ就テモ御參考ニ差廻ハシマシタ書類ニ依ッテ御覽ヲ願フテ居ルト思ヒマスガ、何レノ國ニ於テモ漁獵ニ從事シテ居ル船舶ハ適用シナイト云フコトニナッテ居リマシテ、實例上先ヅ大シタ危險ガナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、吾又此例ニ依ッテ斯様ニ規定シタイ、斯ウ考ヘマス

○橋本喜造君 船舶ナルモノハ年々衰弱ヲシマシテ、古クナレバ古クナル程船ガ弱クナリマスガ、ソレニ對シテ干舷法ハ何年毎ニ改メルト云フコトヲ調べテアリマセヌガ、是ハ何年間毎ニ改正スルノデアリマセウカ、其邊ヲ伺ヒマス

○若宮政府委員 仰セノ通り年限ヲ經マスルト相當衰弱ヲ致シマス、其衰弱ノ程度如何ニ依リマシテハ、

滿載吃水線ヲ變更スルノ必要ヲ生ズルノデアリマスカラシテ、其處デ本案ノ第二條ニ於テ斯カル場合ニ更ニ檢定ヲ受ケシムルヤウニ考ヘテ、「主務大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外」ト云フコトヲ入レテ置キマシタ、檢査官吏ニ於テ船舶ノ現狀ニ照シテ、衰弱ノ程度ハ滿載吃水線ノ變更ヲ要スルト見ル時ニハ、是ヲ再檢査ヲ爲サシメル趣意ニナッテ居リマス、從ッテ何年毎ニ一度ト云フコトハ決メテ居リマセヌ、其船舶ノ現狀ニ應ズル、斯ウ云フ主義ニナッテ居リマス

○橋本喜造君 此處ニ斯ウ云フヤウナ印ヲ捺ヘテアリマスガ、之ニ就テ御尋ネシマスガ、遠洋航船デアレバ無論此必要ガアラウト思ヒマスガ、近海航船、而モ内地ヲ航海シテ居ルヤウナ船ニハ、一番終リニゴザイマスガ、「ウインター」ノース、アタランチック」ト云フノガ書イテゴザイマスガ、斯ウ云フヤウナモノヲ近海航船ニ必要ナカラウト思ヒマス、餘リ筋ガ多ウ過ギマスガ、實ハ外國船デモ遠海航路トカ、或ハ近海トカ、或ハ遠洋デアリマシテモ三筋位ヲ書イテ居リマス、是ハ四筋ニナッテ居リマシテ、日本ノ近海航路ニハ要ラナイ「コーク」ヲ付ケタノデアリマスガ、是ハドウ云フ意味デスカ伺ヒマス、尙附加ヘマスルガ、外國船デハ三筋ニシテ、是ハ近海船デアル、是ハ遠洋航船デアルト云フヤウニ、筋ヲ見テ一見シテ知ルヤウナ點モ、アルト云フヤウニ、私ハ聽イテ、居リマスカ

○若宮政府委員 橋本君ニ御答致シマス、其今檢査法規ヲ搜シテ居リマス、檢査法規ノ中ニ、此外國ニ於キマシテ「勿論我ガ領土外デゴザイマスカラ、此日本ノ法規ニ明カニソレガ遠洋デアルトカ、近海デアルトカ、沿海デアルトカ云フコトヲ、區域ヲ決メル事ハ、出來マセヌガ、内地以外ノ場所ニ於テハ、ソレゾレ其日本ノ規定ニ決メテ居リマス、航路定限ニ準ジテ取極メルコトノ規定ガアリマス、隨テ此船ノ資格トシテハ、或ハ遠洋航船トナリ、或ハ近海航船トナリ、沿海航船トナリ、致シマスケレドモ、ソレガ向フヘ乗出シテ行キマシタ場合ニ於テハ、外國ノ關係ガ生ジテ參ルノデアリマス、ソレデ御覽ノ通りニ、總テ一樣ニ多イ方ノ線ヲ引クコトニナッテ居リマス、ソ

レハ檢査法施行細則ノ五十五條ノ二デゴザイマス

○橋本喜造君 只今ノ御説明ハ甚ダ曖昧デゴザイマシタガ、近海航路ノ資格ヲ有シテ居ルヤウナ船舶ガ、其航路外ニ出ルトキハ、日本ノ法規ニハ從フ必要ガナイト云フコトヲ、私ハ存ジテ居リマスガ、サウシテ「ウインター」ノース」ト云フノハ、英吉利カラ亞米利加ニ渡ルトキノ航路デゴザイマスガ、假令サウ云フ航路ヲ通りマシテモ、日本ノ遞信省ノ御世話受ケスコトニナッテ居リマス、ソレニモ尙ホ必要ガアルト仰シヤルノデスカ

○若宮政府委員 只今申上ゲマシタ通り、檢査法施行細則ノ五十五條ノ二ニ、檢査申請人カラ、申請ガアリマスルトキニハ、外國ノ各港間ヲ航行スル所ノ日本船舶ハ、前六條ノ規定ニ準ジテ、航路定限ヲ定メルト云フコトニナッテ居リマス、一例ヲ取ッテ申上ゲマス、英吉利ノ沿海ニ行ッテ、航行ヲスルト、斯ウ云フ申請ガゴザイマス、之ヲソレ「航路定限ニ準ジテ取極メマス、併ナガラ船舶法規ニ照ラシテ見ルト、向フデ許シマセヌ、此關係ガゴザイマス

○橋本喜造君 尙ホ御尋致シマスガ、日本ノ近海航路ガ英吉利ト亞米利加ノ間、而モ北ノ方ニ行キマシテ、航海スルコトヲ、遞信省デハ、御許シニナリマスカ、又サウ云フヤウナ場合ガアリマスカ

○若宮政府委員 ソレハ許サレナイト思ヒマス

○橋本喜造君 然ラバ此必要ハナイト私ハ決定致シマス

○若宮政府委員 ソレガ先程私ガ申上ゲタ通りニ、假リニ英吉利ニ行ッテ近海航路ニ當ル航路ヲ許サレルト、斯ウ云フ事ニナリマスレバ、今度ハ其國ニ於キマスル、英吉利ト云フ國ノ法規ニ從ハ、ネバナラヌコトニナリマス、其必要上カラ是ガ起キテ參ッテ居ル

○橋本喜造君 ソレカラ解デアリマスガ、段々日本モ外國式ニナリマシテ、「オーバーロード」ノ五百噸、六百噸、千噸ノモノガ出來テ來マシタ、之ニ對シテ何モ完全ナル規定ガナイヤウデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ聞キタイト思ヒマス

○若宮政府委員 解ニ就キマシテモ、船舶ノ構造次第デアリマスガ、從來アリマスル所ノ解ノ如キモノ

ハ、検査法ノ第一條ニ依ッテ、是ハ検査ヲ受ケヌコトニナッテ居ル分ガ、多カラウト思ヒマス、ソレハ此滿載吃水線法ノ方デハ、省イテ居リマス、若シ將來特別ナ必要ヲ生ジマスレバ、ソレハ規定スル見込デハゴザイマスグレドモ、今日ニ於キマシテハ、其必要ヲ認メテ居リマセヌ

○正木照藏君 委員長

○委員長(坪田十郎君) 一寸正木君、今曩キノ質問ヲ局長カラ答辯ヲ...

○若宮政府委員 一寸曩ノ職員法ノコトヲ申述ベタイト思ヒマス、海員懲戒法ノ第一條ニ「海技免狀ヲ受有スル者其ノ職務ヲ行フニ當リ左ノ事項ニ該當スルトキハ海員審判所ノ裁決ヲ以テ懲戒ヲ加フベシ」其各號ノ中ニ、先ヅ第一ニ六號ヲ申上ゲマスガ、第六號ニ「職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ」ト斯ウゴザイマス、ソレデ假リニ未ダ實害ヲ生ズルニ至ラザリシト云フ場合デアリマシテモ、此只今讀上ゲマシタ六號ノ規定ニ從ッテ、懲戒ニ付セラルベキモノト思ヒマス、若シ夫レ一步進ミマシテ、之ガ爲メニ損害ヲ生ジタヤウナコトガゴザイマス、ト云フト、其第二號ノ「懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ自他ノ船舶ヲ間ハズ之ニ損害ヲ加ヘ若クハ沈没セシメタルトキ」之ニ該當スル場合モゴザイマス、又第三號ニハ「過失懈怠又ハ不當ノ所爲ニ因リ人ヲ殺傷シタルトキ」之ニ該當スル場合モ生ジテ參ルト思ヒマス此規定ガゴザイマスカラシテ、當該ノ職員ハ其身分上ノ懲戒ヲ受クルコトニナリマス、此關係ヲ先程申上ゲタ意味デアリマス

○正木照藏君 ソレハ御説明デゴザイマスケレドモ、本案ノ十二條ノ罰金ガ輕イ重イニ就テノ御説明ニハナリマセヌ、御説明ガゴザイマスガ御説明ニナリマセヌト、申上ゲテ置キマス、此上ハ議論ニナリマスカラ——ソレカラ又少シ御尋致シマスガ、今般ノ事ヲ橋本君カラ御話ガゴザイマシタガ、是ハ遞信大臣モ曩キノ御話ノアツタ通りニ、此般ハ「オーバーロード」ヲ引繰返ヘシテ難儀ヲスル者ガアツテ、遂ニハ保險會社デ其荷物ノ保險ヲ付ケヌ場合モ澤山アリマス、此邊ハ、ドウデアリマセウ、今差當ッテ寧ロ其方ガ

必要ダラウト思ハレルガ、例ヘバ大抵ハ皆ナ餘計積ンデ居ル、ソレハ其邊ニ就テハドウ云フ御考デアアルカ、東京邊デハ中ノ澤山沈没シテ居ル、是等ガ本當ノ必要上カラ云フト、寧ロ必要デアルト思ハレルガ、ドウデセウ、其邊ノ御考ハ

○若宮政府委員 先程橋本君ノ御質問ニ對シテ申上ゲマシタ通りデゴザイマシテ、般ニ就テハ其検査法規ガ之ヲ除外ヲ致シテ居リマス、同ジ釣合ニ於キマシテ、此滿載吃水線法案ニ於キマシテモ之ヲ省イテ居ルノデゴザイマス、若シ必要ヲ生ジテ參リマス、ト云フト、獨リ滿載吃水線法ノ適用ヲ要スルコトニナルノミナラズ、検査ノ方モ必要ハアラウカト思ヒマス、同ジ釣合ノ關係カラ省イテ居ルノデアリマス

○正木照藏君 必要ト御認メニナリマセヌカ、今申シタ通り續ナサウ云フ事故ガアリマス、ソレヲ若シ必要ヲ生ジタ場合ト仰シヤルガ、今日既ニ必要ヲ御認メニナリマセヌカ

○若宮政府委員 固ヨリ是等ノ種類ノモノニ就キマシテハ、ソレノ地方廳ニ於キマシテ取締ハ致シテ居ルノデアリマシテ、今日ノ現狀ニ於キマシテ先ヅ其程度ノ監督ニ置イテ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデス

○正木照藏君 其事ハソレトシテ措キマシテ、次ニ第九條ノ主務大臣ノ認定シタル船級協會、此船級協會ハ昨日御説明デアリマシタガ、内外兩方デゴザイマス、日本ノ船級協會ノミナラズ外國ノ船級協會モ入ッテ居ルノデアアルカ、ドウデアアルカ

○若宮政府委員 其積リデゴザイマス

○正木照藏君 サウ致シマス、例ヘバドウ云フヤウナ種類ニナリマス、今日御調ベニナッテ居ル所デハ「ロイド」トカ、「ブリッチ」シユ、コーボレー「ジョン」トカ、「ビュロー」ロー、ベリタス「トカ」、色々ゴザイマス、凡ソ御調ベニナッテ居ルノハ何處ト何處デセウ、ドウ云フ處ヲ御検査ニナリマス、又併セテ伺ヒマシタガ、之ヲドウ云フ方法ヲ以テ認定スルカ、外國人ガ受ケニ來ナイ場合ハ、ドウ云フ方法ヲ以テ遣リマス

○若宮政府委員 本案ノ第九條ニ示シテ居リマス通

リニ、主務大臣ノ認定シタル船級協會ト云フコトデゴザイマスカラシテ、勿論相當ノ審査、審議ヲ經マシテ認定ヲ致ス豫定ニナッテ居リマス、去リナガラ此案ガ示シテ居リマス通りニ、本法及本法ニ基ク規程ニ準據シテ指定ヲ爲スト云フコトヲ條件ト致スノハ、申スマデモナイコトデアリマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ御趣意ハ、向フカラ申シテ參ラヌ時ニドウスルカト云フ御趣意デスカ

○正木照藏君 向フカラ認定ヲ受ケサスカ、是非協會ハ斯ウ云フモノダカラ、日本政府ニ於テ之ヲ認定シテ吳レト云フ出願ノ手續ヲ取ラヌカ、サウデナク帝國政府ハ「ロイド」ナラ「ロイド」ト云フ斯ウ云フコトデ、御遣リニナルノデアアルカ、其邊ノコトハドウ云フコトニ御遣リニナルノデアアルカト云フノデス

○若宮政府委員 手續ノ點ニ就キマシテハ、尙ホ審査中デゴザイマス、爰ニ確然御答スルコトハ出來マセヌノデアリマス、吾々ノ見込デハ主ナル船級協會ハ此希望ヲ申述ベテ來ルモノト豫期シテ居リマス

○正木照藏君 ソレデハ參考ノ爲メニ、候補者ト自ラセラル、モノハ何處々デアルト云フコトヲ一寸承リタイ

○若宮政府委員 是ハドウモ豫定ヲ申上ゲマス、コトモ如何カト思ヒマスガ、勿論御承知ノ通り世界デ主ナル外國ノ船級協會ハ、先ヅ英吉利ノ「ロイド」、ブリッチ「シユ」、コーボレー「ジョン」、佛蘭西ノ「ビュロー」、ベリタス「トカ」等デゴザイマス、若シ強テ候補者トシテ吾々ノ頭ニ入ッテ居ルモノハドンナモノダト仰セラレ、バ、是等ガ主ナル船級協會デアリマス、ト云フコトヲ、豫定のニ申上ゲル以上御答申シ兼ルト思ヒマス

○正木照藏君 日本ニ於キマシテハ何レデアリマス

○若宮政府委員 我國ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク帝國海事協會船級部一ツヨリ今日ハゴザイマセヌ、自然是ガ候補者ノ一ト申上ゲルノハ却テ語弊ガアリマス、唯一ノモノデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○正木照藏君 モウ一ツ進ンデ御尋致シマスガ、身分上ノ制裁ヲ加ヘル時分ニ、斯ウ云フ吃水ヲ以テ斯ウ斯ウシタト云フコトハ、ドウ云フ風ニシテ御取調ベナサルカ、第七條ニ検査官吏ガ云々トゴザイマスガ、是ハ大分ムツカシイト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニ御取調ベニナリマスガ、例ヘバ後トカラ調ベテ見ルト證書ヲ受ケナカッタト云フコトガ分ルト、其時分ニ廻ッテ罰スルノカ、出テシマツタ時分ニハ其證據ハ分ラヌコトニナル、之ヲ嚴重ニ適用スルコトハ大分ムツカシイト思ヒマスガ、ドウ云フ方法ヲ以テ適用サレルカ、殊ニ海外ノ港ニ於テ其吃水線ヲ守ッテ居ッタカ、守ッテ居ラスカ、其罰ヲドウスル、斯ウ云フノデス

○若宮政府委員 私人寸判然御質問ノ要旨ヲ了解シ兼ルノデアリマスガ、御尋ノ趣意ハ第十二條ニ罰則ガ付シテアルガ、如何ニシテ取締ラスルカト云フ御趣意ト承リマスガ、サウデスカ

○正木照藏君 吃水證書ヲ持ツズニ行クコトガ分リマスガ、吃水線ヲ超ユル吃水ヲ以テ航行シタト云フコトヲ見ルト云フノハ、ドウ云フ工合ニヤッテ見ルカト云フノデス、日本ノ國デハ出來ルカ知ラスガ、外國ノ港デヤツタ時分ニ、二寸三寸餘計積ンデ、出テシマツタ後トデ調ベテ見ルト斯ウ云フコトガアッタト云フコトノ證據ガアリマスガ、ソコハドウ云フコトニナリマスガ、餘所ノ國デハドウ云フコトニシテヤッテ居リマスガ、其實ヲ見ルニ就イテ……

○若宮政府委員 總テノ行政法規ニ於キマシテ取締規定ガ設ケテアル、又其取締規定ヲ強行致シマス爲ニ罰則ノ付シテアル例ハ日常澤山ゴザイマス、而シテ實施方法ハ如何カト云フ御尋デゴザイマス、ト云フト、ソレハ内地ニ在ッテハ警察、其他ノ機關モゴザイマスシ、外國ニ在ッテハ領事等モゴザイマスシ、一般ノ行政法規ト同様ノ取締方法デアルト、概括的ニ申上グル外御答ノ致シ様ガナイノデゴザイマス、而シテ罰則ニ關シマシテ、原則ト致シマシテサウ云フ罰ヲ受クベキ行爲、事實ト云フモノガ起キタラバ、之ニ對シテ罰ヲ加ヘラレルノガ、罰則ノ原則デゴザイマスカラシテ、事柄ガ起キマセスケレバ十二條ノ適

用ト云フモノガ發生シテ參ラスコトハ、私ガ申上ゲルマデモナイ次第デゴザイマシテ、勿論事實アリシト云フコトニ於テ始メテ十二條ガ動イテ來マス、外國ニ於キマシテハ領事ノ監督モゴザイマスシ、又乗組ンデ居リマス所ノ人ガ、實際之ヲ見テ居ルト云フ關係モゴザイマス、若シ又事實ガ分リマスレバ違反行爲ガ起キテ來ルノデ、取締モ一向差支ナイヤウニ考ヘテ居ル

○正木照藏君 事實ガアッテモ、之ヲ見付ケルコトガムツカシイ事實ガ有ツカ無イカト云フコトヲ、ドウ云フ風ニスルト云フ事ヲ御尋スル、一般行政法ハ私ハ知リマセスガ、兎ニ角斯ウ云フ罰則ヲ拵ヘタ以上ハ何カ之ニ對シテ制裁ヲ加ヘルモノ、始終見テ居ル機關ガナケレバ殆ド空文見タヤウニナッテシマフ、何カ事ガアッテ間違ガアツタ時分ニ、知ラス顔ヲシテ、妙ナ形ニナリハシナイカ、斯ウ云フ心配ヲスルノデス、適用ハムツカシイガ、事ノアツタ時分ニ初メテ使フト云フ御精神ナラソレデモ宜シイノデス

○若宮政府委員 先程申シマシタヤウニ、一々或ル種類ノ罰則ヲ附シテ其罰則ニ觸レ、ソノ人ノ後カラ巡査ガ躡イテ歩クト云フコトハ出來ナイコトデアリマスカラ、是モ一般行政法規ノ罰則ト同ジ取扱ヲスル積リデアリマス

○正木照藏君 ソレデハ船ガ出ル時分ニ、見ルトカ何トカ云フ方法ヲ御考ヘニナッテ居ルノデスカ、殊ニ外國ノ港デアッタラドウスルノデスカ、或ハ海難ノ時ニ證據デモ舉ッテ來タ際ニ適用スルノデスカ、其邊ノ御考ガ十分デナイト思ヒマスガ、此質問ハ是デ止メマス——ソレカラ十七條ノ趣意ハドウ云フ意味デアリマスカ

○若宮政府委員 第十七條ノ趣意ハ、本法ヲ適用スル上ニ就テ、施行ノ曉ニハ、成タケ早ク全部ノ指定ヲスルコトハ理想デアリマスガ、多數アル船舶ヲ一時ニ指定スルト云フコトハ出來難イノデアリマス、又船舶所有者ノ立場カラ申シテモ、一時ニ検査ヲ受ケルコトハ難澁デアリマス、ソコデ定期検査ノ都度ニ之ヲ致シタイ、サスレバ本法ガ施行ニナリマシテモ、其順序ノ當ラナイ船舶ハ後ニ廻ルコトニナリマス、

ソレガ爲メニ十七條ヲ置イテ主務大臣ガ順序ヲ定メマシテ、其順序ニ當ルマデノ船舶ニ對シテハ、本法ハソレマデ猶豫シテ置イテ働カナイノデアリマス、此例ハ測度法ニアリマス

○橋本喜造君 私ハ若宮管船局長ニ御尋シタイノデアリマスガ、局長ハ提案者デアアルガ爲メニ、秦次官ニ御尋シテ私ノ希望ヲ是非貫徹シヤウト思ヒマス、ソレハ手數料ノ問題デアリマス、船舶ハ色々ヤカマシイ検査ヲ致シマスガ、其検査ハ無代デアリマシテ、唯ダ其ノ證書ヲ受ケルトキニ二百圓拂フコトニナッテ居リマス、所ガ本法ハ簡單ナル検査ニ對シテ手數料ヲ取ル、而モ其ノ金高モ書イテナイ、若シ斯ウ云フコトヲ爲サルト、日本船舶ノ發達ヲ阻害スルト考ヘマス、ソレデモ無手數料デアルコトニシテハドウカト思ヒマスガ、秦次官ハ提案者デモナシ、一般ノ事情ニ立人デアリ、又經濟界ノ事モ能ク御存ジデアリマスカラ、爰ニ斷定的ノ決定ヲ願ヒマス

○秦政府委員 只今橋本君ノ御希望デアリマスカラ能ク考ヘテ見マスガ、検査ニ手數料ハ無イト云フ御話デアリマスグレドモ、手數料ハ取ッテ居リマス

○橋本喜造君 大連ハ取ッテ居ルヤウデスカ、内地ハ取ッテ居ラナイデセウ

○秦政府委員 イヤ取ッテ居リマス、ソレカラ手數料ノ問題ハ取ラナクトモ宜イト言ヘバ宜イヤウナモノデスカ、是ハ検査デモ取ッテ居リマスシ、又船級協會ノ關係モアリマスカラ、是等ハ矢張相當手數料ヲ取ル方ガ適當ト考ヘマシテ提案サント次第デアリマス、併シ御希望ノ點ハ十分ニ斟酌シテ決メタイト思ヒマス

○橋本喜造君 私ハ日本ノ船舶ノ検査ハ長イ間取ラナカッタカラ、今デモ手數料ヲ取ラナイト思ウテ居リマシタガ、今ノ御答ニ依ッテ私ノ誤リヲ知リマシタ、大連ハ當初カラ手數料ヲ取ッテ居リマシタガ、其ノ眞似ヲシテ矢張取ルコトニナツタノデセウ、是ハ確カニ若宮管船局長ガ御遣リニナツタニ違ヒナイ——ソレハソレトシテ、船舶検査ハ短キモ十日、或ハ二十日、長キハ一年モ掛カルモノガアリマス、サウシテ検査委員ハ晝夜寢ザルコト十日ニモナルモノガアリマス

カラ、是等ニ對シテ手數料ヲ取ルノモ宜シイガ、併シ
本法ノ檢査ノ如キハ簡單明白デアアル、之ニ對シテ手
數料ヲ取ルノハ金持ノ船主ナラバ宜シイガ、貧乏ナ
ル船主ニ對シテハ納メルコトノ出來ナイ場合モ強制
シテ取ルコトニナルト、日本ノ船舶ノ發展ヲ妨ゲル
ト思ヒマス、秦次官ハサウ云フコトハ御承知デモア
ラウシ、又經濟界ノ傾イテ居ル今日、ソレ位ノコトハ
御遣リニナツテモ宜カラウト思ヒマスガ、矢張提案者
ニ御同意ニナツテ吾々ノ希望ヲ滿タサレナイデアリ
マセウカ、此際次官ノ御反省ヲ促シテ置キタイト思
ヒマス、ドウカ明日デモ改メラレタル御意見ヲ聽キ
タイト思ヒマス

○森恪君 段々質問ヲサレマシタガ希望ノ條件ニ這
入ルヤウデアリマス、最早正午ニモナリマスカラ質
問ハ是デ打切ツテ如何デスカ

〔賛成〕賛成ト呼ブ者アリ

○委員長(坪田十郎君) 質問ハ是デ終了致シマス、
今日ハ是デ散會致シマス

午後零時一分散會

大正十年一月三十一日印刷

大正十年二月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局